

加西市議会だより

No.170

2022

2



未来に羽ばたけ！

加西市へ頻繁に飛来するコウノトリ

写真提供：網引町 板井 正和さん

議会基本条例の検証 (P9)

12 月定例会

- 。議案審議 (P2~7)
- 。議決結果 (P8)
- 。一般質問 (P11~15)

議案審議

12 月定例会では、人事案件 1 件、条例 4 件、市道認定 1 件、補正予算 6 件の計 12 件について審議を行いました。

なお、人事案件と追加提案された補正予算 2 件を除く議案を所管の常任委員会に付託し、審議しました。

審議の経過について主なものを紹介します。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（2 月下旬掲載予定）にて御覧いただけます。

市職員を派遣できる公益的法人に加西市観光協会を追加

議案第 75 号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案の内容

加西市観光まちづくり協会の法人化に伴い、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の規定に基づき、職員を派遣できるよう改正するもの。

【概要】

- ・派遣できる公益的法人等に「一般社団法人加西市観光協会」を加える。
- ・派遣可能な職員に、再任用職員及び再任用短時間勤務職員を加える。

◆ 質 疑

問 市職員の派遣先に一般社団法人加西市観光協会を加える目的は。

答 令和 3 年 10 月に一般社団法人となり、より主体的に加西市の観光分野の魅力を発信し、観光イベントの実施等による市の PR と誘客に取り組んでいます。今春には鶉野飛行場跡地の地域活性化拠点施設「sora かせい」への事務所移転を予定しており、関係人口や交流人口のさらなる増加につながるよう市も支援していきます。

問 現在、加西市から他の団体に派遣されている市職員の数は。

答 農林水産省や県市町振興課、播磨内陸医務事業組合など 8 つの団体に 9 名の職員を派遣しています。

問 現在、観光協会の事務局長は元市職員。法人化後、市の再任用職員から観光協会採用の職員となっているが、市職員の派遣の必要はあるのか。

答 法人化されたばかりであり、4 月から新たな場所で運営していくため、市職員を派遣し、観光協会の運営が円滑に軌道に乗るよう支援する必要があります。



問 何年間、市職員を派遣するつもりか。

答 3年以内（5年まで延長可）の派遣ですが、観光協会の運営が軌道に乗る時期が分からないため、派遣期間は運営状況によって検討していきます。

問 観光協会の会長から市に対して職員派遣の要請があったのか。

答 特に要請はありません。

※ 以上のような質疑の後、本会議最終日に修正案が提出されました。

（修正案の内容）

職員を派遣できる公益的法人等に一般社団法人加西市観光協会を加える改正規定を削るもの。

（修正の理由）

加西市観光協会には観光担当理事を経験した元市職員が事務局長として勤務しており、別途、市職員を派遣する必要性が認められないため。

◆ 討 論

原案に賛成・修正案に反対

・観光協会への市職員の派遣は「sora かさい」のオープン後、その運営を軌道に乗せる重要な使命があるとともに、市全体の観光事業をより力強く推進する目的がある。多くの来場者を迎え、満足度を高めるために、観光協会・指定管理者・市の一層の連携を図る必要がある。
（本会議）

原案に反対・修正案に賛成

・すでに市の観光担当理事を務めた人物が退職後、観光協会の事務局長に就いている。市職員を派遣するよりも観光分野に長けた民間人材を採用する方法もある。また、市役所にも文化・観光・スポーツ課があり、職員を派遣せずとも市との連携事業は行うことができる。（本会議）

◆ 議決結果

賛成多数で原案可決



出産育児一時金の支給額の見直し

議案第76号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案の内容

健康保険法施行令等の一部を改正する政令により、令和4年1月1日から出産育児一時金の支給額が改められること等に伴い、改正するもの。

【概要】

- ・出産育児一時金の支給額の見直し（総額は変更なし）
（現行）40万4,000円＋加算額1万6,000円
（改正後）40万8,000円＋加算額1万2,000円
- ・児童福祉施設に入所中の児童等で扶養義務者のいない者を被保険者資格の適用除外とする

◆ 質 疑

問 産科医療補償制度の内容と加算額の減額理由について。

答 分娩に関連して、重度脳性まひとなった新生児とその家族へ補償金を支払う制度で、分娩機関が負担する掛金を財源に運用されており、経済的な負担を速やかに補償し、分娩機関との紛争防止や早期解決を図ります。制度に加入する分娩機関が増えたことや、産科医療の質の向上により脳性まひになる事例が減少していることなどから、掛金が引き下げられたため、加算額が減額となりました。



問 出産育児一時金の見直しについて、自治体でも基準に上乗せをすることは法令上可能では。

答 一時金の額については条例で規定することになっていますが、国から基準が示されており、他の保険制度も同様に定められていることから、独自の上乗せは難しい状況です。

問 児童福祉施設入所者で扶養義務者のいない対象者を被保険者としないうちについて、他の自治体の対応は。

答 該当の施設がない自治体では対象児童がいないこともあり、全国的に条例への規定が少なく、国、県が改めて通知を行い、県下でも今回定める自治体が多い状況です。

◆ 討 論

賛成

・出産育児一時金の額は10年来変わっていないが、出産費用は50万円を超える状況で、一時金の金額は現状に合わなくなっている。出産費用等の状況を踏まえて一時金を改定することになっており、コロナ禍で市が一時金を増額することも制度上可能で、検討すべきだ。国に一時金の基準引上げを求めることも、非常に大事であるので、賛成するが意見を申し述べたい。（本会議）

◆ 議決結果

全会一致で原案可決

北条東こども園が『北条東すみれこども園』へ

議案第78号 加西市認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案の内容

令和4年4月1日から北条東こども園を公私連携幼保連携型認定こども園「北条東すみれこども園」として民間事業者に移管することに伴い、改正するもの。

◆ 質 疑

問 北条東こども園の民営化に当たり「公私連携型」のこども園とした理由は。

答 民間活力を生かし、保護者の多様なニーズに対応しつつ、特別な配慮を必要とする子供たちが増える傾向にあることから、市もサポートしていくため、この形になりました。

問 民営化後の「北条東すみれこども園」の定員は。



答 現在と同じ110名ですが、1号認定（3～5歳児の教育利用）が15名、2号認定（3～5歳児の保育利用）が68名、3号認定（0～2歳児の保育利用）が27名の内訳となっています。

問 公立園から移管先の社会福祉法人への職員の移籍は。職員の入れ替えによる対応は。

答 社会福祉法人無量会（移管先の事業者）からは職員の確保ができたと聞いています。また、昨年4月から社会福祉法人無量会の保育士が参加し、合同保育を進めています。今年4月以降は、公立園から引継ぎ保育を行います。

問 保育内容等の変更は。

答 民営化後も現在の保育内容を継承することとしていますが、変更する場合は、保護者、社会福祉法人無量会、市で協議、調整をすることになっています。現在は開閉園時間を平日は7時から19時、土曜日は7時から18時へと大幅に延長することが決まっています。

◆ 討 論

賛成

・初めての民営化であり、子供たちや保護者のことを考え、きちんと説明しながら、丁寧な移行をしてもらいたい。（総務常任委員会）

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



市道高室12号線を認定

議案第79号 市道路線の認定について

◆ 議案の内容

北条町東高室において整備されている地区計画道路を高室12号線として認定するもの。

◆ 質 疑

問 起点と終点に対面する県道や市道の交通量は多いが、信号の設置などの安全対策と渋滞対策は。

答 兵庫県公安委員会との協議により、いずれも既設の交差点から距離が近いので信号機の設置は見送られています。安全対策は、公安委員会、道路管理者からの指示に従って、供用開始までに必要な設備を設置する予定です。渋滞対策は、北区画に三木穴栗線からの左折での乗り入れ口を設けて、交通を分散させるほか、開店時等は事業者がガードマンの配置を依頼しています。

◆ 討 論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



sora かさいの屋外トイレ整備、新型コロナワクチン3回目接種など 議案第80号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第6号）について

◆ 質 疑

「アスモ」備品購入 1,500万円の増

問 アステアかさいに整備中の屋内型遊戯施設及びテレワークセンター（アスモ）の備品購入費増額は。

答 施設の運営事業者が決定し、テレワークセンターのインターネット設備のほか、先進的な設備を整備するために備品購入費を増額します。



sora かさい屋外トイレ整備 5,000万円の増

問 トイレ整備の概要について。

答 sora かさい北広場の東寄りに整備予定で、特に混雑が予想される女性団体客に配慮し、女性用トイレを多く設置します。外観は備蓄倉庫やsora かさいと統一感のあるデザインとし、秋の修学旅行シーズンに間に合うように整備したいと考えます。ふるさと納税クラウドファンディングによる寄附を整備費用に充てています。



新型コロナワクチン接種 3,636万2,000円の増

問 3回目の接種スケジュールと案内について。

答 市民の皆様への接種は2月頃から開始予定で、接種可能日の約3週間から5週間前に接種券と案内を送付します。集団接種と個別接種を併用し、令和4年の夏頃まで行う予定です。同日の同会場で2種類のワクチンを扱うことは、今のところ考えていません。今後、国の方針やワクチン供給量などを見極め接種計画を立てます。



主食用米等生産継続支援補助 5,190万円の増

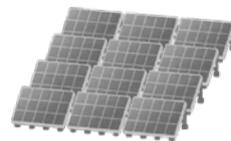
問 対象作物と支援金の目的について。

答 対象作物は、主食用米のうるち、もち、酒造好適米で、10アール当たり3,000円を交付します。JAの仮渡し金額が対前年度比で1,050円下落したことで、大規模農家は収入の減少、小規模農家も営農意欲の低下につながりますので、収入の補填と今後の営農意欲の維持を目的としています。

脱炭素化設備等導入促進補助 5,200万円の増

問 補助区分と申請状況について。

答 再生可能エネルギー設備の補助申請が製造業7件、運送業2件の9件、省エネルギー設備の申請が製造業3件で、合計12件、1億1,200万円の申請があり、当初予算6,000万円では不足するため、5,200万円を増額補正します。太陽光発電等による電力の自家消費に係る再生可能エネルギー設備の導入が多くなっています。



ふるさと納税推進事業 16億6,321万5,000円の増

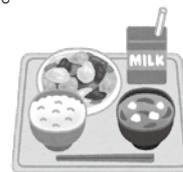
問 委託内容の一部を市内の業者に委託することは考えられないか。

答 11のポータルサイトにふるさと納税返礼品の掲載を委託しています。また、全てのサイトを通じて行われた寄附の受付や返礼品の発送などの業務を、一事業業者に委託しています。返礼品の調達等に係る委託については、地域商社の設立などにより、地域内の団体等に委託することは一定可能であると考えますが、13万件を超える寄附者の対応となりますので、その人材育成や組織づくりなどには一定の時間を要するものと考えます。

学校給食費補助金 448万円の増

問 学校給食費補助金の増額理由は。

答 学校給食費の支出の増加により一般会計から繰り入れるものです。学校給食費増加の要因は、農作物の価格の高騰、燃料費の高騰、また、加西産農作物を使用した加工食品の使用が増えたことによるコストの増加の3つです。食材や燃料費は本来は給食費で賄うべきですが、保護者に追加負担していただくことは難しいと判断し、一般会計から補填します。



◆ 討 論

賛成

・「アスモ」の備品購入費が、当初予算から1,500万円も増加し、設計そのものが甘いと言わざるを得ない。運営費も年間4,000万円と大きく財政負担の縮減を図るため、使用料金の設定をしっかりと考えて欲しい。（本会議）

◆ 議決結果

全会一致で原案可決

議案第 82 号 令和 3 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について

◆ 議案の内容

- 【歳入】・国庫支出金 3,474 万円
 介護給付費負担金等の増
 ・県支出金 2,182 万 5,000 円
 介護給付費負担金の増
 ・繰入金 5,825 万 5,000 円
 介護給付費及び人事異動に伴う人件費増
 【歳出】・保険給付費 1 億 4,700 万円
 介護（予防）サービス給付費の増

◆ 質 疑

問 介護サービス費、1 億 4,700 万円の増額補正について。

答 居宅介護サービスは、通所介護、通所リハビリが当初見込みより大きく伸び、地域密着型介護サービス費、施設介護サービス費についても伸びています。令和 2 年度はコロナの状況下で給付が伸びませんでした。

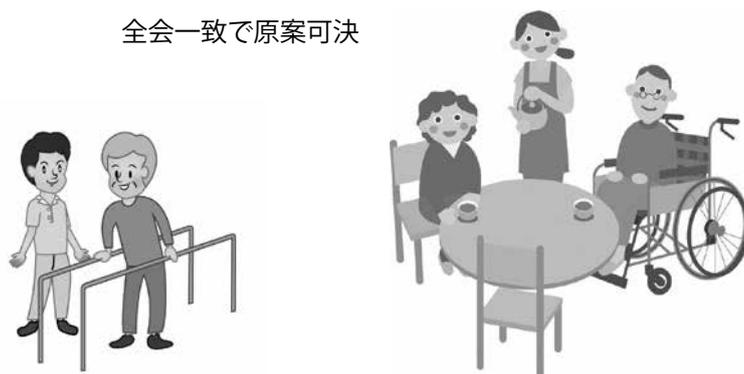
令和 3 年度予算は、令和 2 年度を基に設計していましたが、コロナの落ち着きもあり、利用が戻ってきたと思われます。

◆ 討 論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



議案第 83 号 令和 3 年度加西市病院事業会計補正予算（第 3 号）について

◆ 議案の内容

- 【収入】・補助金 5 億 2,988 万円
 新型コロナウイルス感染症補助金の増
 ・その他収益 958 万 7,000 円
 新型コロナワクチン集団接種の委託料の増
 【支出】・給与費 5,536 万円
 新型コロナ対応のための看護師、事務職の追加及び新型コロナワクチン集団接種業務による増

◆ 質 疑

問 令和 3 年度の新型コロナ対応による国、県からの補助金の見通しは。

答 今回の補正予算で計上している 5 億 7,000 万円に加えて、3 億円近く補助がある見込みです。



問 5,500 万円余りの給与費の増額の中身は。

答 正規職員のコロナ関連の手当が 4,300 万円の増額、コロナ対策のために会計年度任用職員の増員による 1,200 万円の増額となっています。

◆ 討 論

賛成

・新型コロナ対策に伴う医業外収益により収支は大きく改善したが、医業収支は引き続き厳しい。サテライト病院に移行しようとしているが、運営が厳しく病床数や医師数を削減している事例もある。引き続き感染症指定病院としてやっていく以上、公立病院としての機能を守りつつ、市もしっかり支援して維持しなければ、悪循環に陥るのではと非常に危惧する。今後の運営に当たっては、新たな取組もやっていただきたい。（本会議）

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



子育て世帯 及び 住民税非課税世帯への臨時特別給付金

議案第 84 号 令和 3 年度加西市一般会計補正予算 (第 5 号) について
 議案第 85 号 令和 3 年度加西市一般会計補正予算 (第 7 号) について

◆ 議案の内容

新型コロナウイルス感染症が長期化し、日常生活や経済活動に大きな影響をもたらしている中、子供たちを力強く支援し、その未来を開く観点から、子育て世帯に対する臨時特別給付金を支給する。

また、厳しい状況に直面した方が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して臨時特別給付金を支給する。

【子育て世帯臨時特別給付金】

18 歳以下の子供一人当たり 10 万円 (所得制限あり)

【住民税非課税世帯等臨時特別給付金】

1 世帯当たり 10 万円

- ・対象：①世帯全員の市民税均等割が非課税の世帯
 ②新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①に相当する世帯

◆ 質 疑

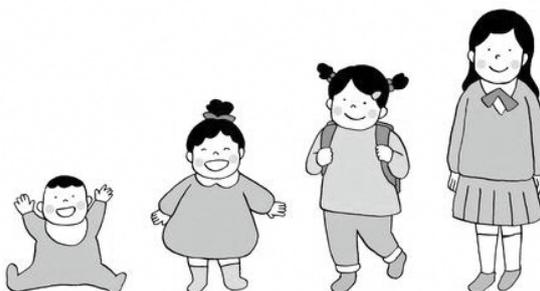
子育て世帯臨時特別給付金 6 億 663 万 6,000 円の増

問 現金一括給付とした理由について。

答 できるだけ早く、使いやすい形で支給してほしいという声や、全国的なアンケートで 90%以上の方が現金で支給してほしいという結果が出ています。また、事務的な経費も削減されるため、現金一括給付に決定しました。2 回目をクーポンで支給する場合と比べ、おおむね 600 万円の経費削減となります。

問 申請手続はどのように行うのか。

答 ゼロ歳から中学 3 年生は児童手当の仕組みを利用するため、口座番号の変更や受給の辞退などがなければ申請は不要です。16 歳から 18 歳の高校生については、市から送付する申請書類を返送していただく必要があります。



問 いつ支給されるのか。

答 ゼロ歳から中学 3 年生については、令和 3 年 12 月 27 日に児童手当の登録口座へ振込む予定です。

高校生については、令和 4 年 1 月初めに申請書類を送付する予定で、書類の返送も必要なことから、現時点では 1 月 27 日の支給を予定しています。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金 5 億 1,890 万円の増

問 対象世帯について。

答 令和 3 年 12 月 10 日現在、市民税非課税世帯は約 4,200 世帯です。加えて、令和 3 年 1 月 2 日以降に転入された世帯のうち市民税非課税世帯及び家計が急変した世帯などが約 800 世帯あり、合計 5,000 世帯が対象となります。

問 支給の時期について。

答 国からの詳細な制度設計が届き次第システム改修に着手し、1 月中旬頃にシステム改修を終える見込みです。その後対象者をリストアップして申請書類を送付し、内容を確認のうえ返送していただきます。これらの手続が 2 月中旬頃までかかると見込んでおり、支給は 2 月下旬をめどにしています。

◆ 討 論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



第293回 令和3年12月定例会 議決結果一覧 令和3年11月30日～12月22日

■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	衣笠利則	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	原田久夫	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第75号 修正案 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例案に対する修正動議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議長	×	×	修正案否決 (賛3、反11)
議案第75号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議長	○	○	原案可決 (賛11、反3)
意見書案第5号 我が国の海峡管理及び沿岸警備の強化に関する意見書について	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議長	×	○	原案否決 (賛4、反10)
意見書案第6号 北京冬季オリンピック・パラリンピックの外交ボイコットを求める意見書について	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	議長	×	×	原案否決 (賛4、反10)

■全会一致で適任と答申、可決した議案

- 諮問第15号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第76号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第77号 加西市立児童館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第78号 加西市認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第79号 市道路線の認定について
- 議案第80号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第6号）について
- 議案第81号 令和3年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第82号 令和3年度加西市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第83号 令和3年度加西市病院事業会計補正予算（第3号）について
- 議案第84号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第5号）について
- 議案第85号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第7号）について
- 委員会提出議案第3号 加西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について
- 委員会提出議案第4号 加西市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

議会基本条例の検証

1 議会基本条例とは

議会運営に必要な基本事項や市民と議会、議会と市長との関係等について、議会の基本姿勢を明文化したものが『議会基本条例』です。

加西市議会では、市民の福祉の向上と市民に信頼される議会を目指し、議会及び議員の活動の充実と活性化を図ることを目的として、平成22年6月に制定しました。



議会基本条例制定に向けて開催された懇談会（2009年6月）

2 検証経緯

条例制定から4年後の平成26年度に初めて条例の検証を行うとともに、その検証結果に基づき平成26年12月定例会で条例の一部を改正しました。

その後、平成30年度に条例制定から2回目、そして、令和元年の一般選挙から任期2年を経過した令和3年度に3回目となる検証及び見直しを行いました。

3 検証経過

令和3年8月より、議会運営委員会を月1回程度開催し、条文ごとに達成度や現状及び課題を確認する検証シートを使って、改善すべき項目を洗い出し、その対応策について協議を重ねました。



議会運営委員会での検証の様子

4 検証結果

改善等の見直しが必要となった主な内容は下記のとおりです。
なお、令和3年12月定例会初日に条例改正案を提出し、全会一致で可決しました。

項目	条項	内容
広報の充実	第7条	議案に対する各議員の質疑や一般質問の内容は、議会だよりで発信していますが、ホームページにおいても既に議案や議決結果等を掲載しており「議会ホームページ」を条文に加えることとしました。
議決事項の追加	第11条	「障害福祉計画・障害児福祉計画」と密接に関連する「障害者基本計画」を議決事項に加え、一体的に審議することとしました。

※ 議会基本条例全文は加西市議会ホームページに掲載しています。



加西市議会ホームページ



教えて！議会のキホン



議場って、どんなところですか？

議場（本会議場）は、議会の話し合いの中心となる場で、定例会や臨時会を開催しています。

定例会は市のお金の使い道（予算）やルール（条例）などについて年4回開催します。臨時会は国の制度が変更されたり災害が起こったときなど、急いで決める必要があるときに開催します。（令和2年度は4回開催しました。）



議場はどんなレイアウトになっているの？

市の担当部長と議員が対面する形で、議長席と演壇が担当部長席の中央に配置されています。議員席側には質問席があり、議員が質問等を行う際、質問席から市の担当部長のほうを向いて行きます。演壇に立ち、議員のほうを向いて質問等を行うこともあります。



傍聴席から見た議場（本会議場）



議場を見たい！中に入ることはできるの？

議場には傍聴席があって、定例会や臨時会はどなたでも見ていただくことができます。皆さん、ぜひ議場にお越しください。

インターネット中継もしていますので、時間があるときにお家で見ていただくこともできます。



12月8日、9日の本会議では、10名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

園・保育所の状況について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 待機児童や保留児童がいるとのことだが、受入れの状況は。

答 令和3年4月1日以降、待機児童数は2名から少しずつ増えて8月1日の11名をピークに、12月1日現在で8名です。保留児童は、15名から若干の増減を繰り返しながら推移し、12月1日現在で32名です。増減推移の中で8月から9月にかけて待機児童数がマイナス6、保留児童数がマイナス2と減少しました

が、10月1日に小規模保育所が開園したことに伴う効果と考えます。待機児童、保留児童のほとんどがゼロ歳児から2歳児となっています。

問 小規模保育所開設の状況について。

答 令和3年10月1日に愛の光ナーサリーが開園しました。令和4年4月にはサンライズキッズ保育園加西園が北条地区に開園する予定です。

問 ゼロ歳児から2歳児の待機児童解消に向けた今後の方向性について。

答 待機児童、保留児童は北条地区と九会地区に多い状況です。令和4年度には、北条地区と九会地区にそれぞれ1園ずつ、小規模保育所の開園に向けた手続

を進めています。

子育て世代のニーズに応え、加西市に住み、子育てしていただける環境を提供できるように、ゼロ歳児から2歳児の受皿を確保し、待機児童、保留児童数の削減に努めます。

意見 少子化ではあるが、3歳未満児の保育利用の需要は伸びているので、受入体制の拡充を進め、子育て支援を充実させていただきたい。受入体制の拡充を進めるに当たっては、職員の負担増が懸念されるので、職員の処遇の改善や工夫等も併せて検討していただきたい。

■その他の質問項目

- ・学校教育における障がい者との交流について
- ・県道及び市道の整備について

加西市未来の学校構想検討委員会について



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

問 令和3年10月11日に始まった加西市未来の学校構想検討委員会の概要について。

答 少子化の進行による小中学校の再編や地域との連携による学校づくりなど、望ましい教育環境と具体的な方策について協議します。保護者代表や代表校長、代表区長、代表園長、学識経験者など17名に委員をお願いし、1年間協議していただきます。

問 小学校は地域の伝統と気風を受け継ぐもので、地域の

まとまりと一体感を醸成する地域の核でもある。子供たちが歩いて登下校する姿が見られないと寂しいと感じるが、教育長の思いは。

答 (教育長) 地域に子供たちの声がたくさんあることは大変大事だと思っています。また、小規模校の教育の良さも十分にわかっているつもりです。今、教育、学校の在り方を考えることは、20年、30年後の加西市の大人の生き方に強い影響を及ぼす大変重要な課題です。検討委員会で加西市ならではのビジョンを示し、未来の大人に恥ずかしくない学校構想を描きたいと切望しています。

問 市長は初当選の際、前市長の11校から6校への小学校統廃合案に対して、11校存続を主張された。今、検討委員会を立ち上げられたが、その思いは。

答 (市長) 人口増を図って学校の存続を目指しましたが、結果は厳しい状況で、3期目は学校の在り方の検討をマニフェストにしました。任期中に一定の方向性を示す意味で、令和5年3月議会に何らかの提案をすることが市民に対する真摯な対応だと考え、逆算してこの時期の立ち上げとなったこと。教育委員会で視察や研修、議論をし、教育長が教育委員の意見を素案としてしっかりまとめられたこと。最終的には令和4年9月に答申、その後百人委員会を開催します。「これで加西市の教育は素晴らしいものになる」と私が見立てましたので、立ち上がったということです。

■その他の質問項目

- ・未来型児童館について
- ・加西病院の改築及び新病院改革プランについて

社会福祉事業について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 生活保護の受給に当たっては、失業や病気、けが、年齢的に再就職が見込めないなど様々な要因があると思います。令和2年度の事務報告書によると、受給者全体のうち適用期間が5年から10年未満の方が29%、10年以上の方が30.5%と6割近くの世界帯が長期にわたって受給されていますが、どのような要因によるものが多いのかお聞きします。

答 生活保護の適用期間を令和2年度の状況で見ると、138

世帯中10年以上が42世帯で全体の30.5%と最も多く、次いで5年から10年未満が40世帯で29%と、適用期間5年以上の世界帯が全体の約60%を占め、長期化傾向が見られます。

その原因としては、世帯員全員が65歳以上の高齢者世帯が98世帯と全体の71%を占め、高齢者で保護が開始になると、自立はなかなか難しい状況になっています。病気や障害等を理由に保護になる場合は、病気が治る、また他の年金を利用できるようになるなどの理由で比較的早く保護から自立される場合がありますが、高齢者世帯の場合は、一旦保護になると自立が難しいという状況です。

問 生活困窮者の自立支援事業についてお聞きします。

答 生活保護に至る前段階の自立支援策の強化を図る目的で、生活全般にわたる相談を受けています。生活に困っている1人1人の状況に合わせた支援プランを作成し、自立相談支援員が他の機関とも連携して解決に向けて支援しています。就労準備支援や住宅確保給付金、家計改善支援、子供の学習・生活支援事業など、多様な状況に応じて様々な支援を行っています。令和2年度の相談件数は192件、令和3年度は11月末で83件の新規相談を受けています。

■その他の質問項目

- ・加西インター産業団地について
- ・東高室地区再開発について
- ・マイナンバーカードについて
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について

農業振興について



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 大型トラクターの資格取得についてお伺いします。技能講習会の受講申込みが多く、受講できないとの指摘がありました。主催する兵庫県農業機械化協会に確認したところ、年間の受講者数は加西会場で定員120人、豊岡会場で40人ですが、令和3年度は595名の応募があり、抽選したとのことでした。所管する県にも確認したところ、令和3年度は特別に120人増員するとのことでした。またJA全農も令和3年度から組合員限定で70人程度行うそ

うです。

加西市も農業振興の観点から、高額な受講料も含めてできる限りの支援が必要ではないか。考えをお聞きします。

答 非常に申込みが多くて受かりにくく、通りにくい。抽選になりますので、なかなか受講できない状況が続いています。令和3年度は新たに120名の定員増とはいえ、加西市の方は20名弱の受講になると思います。

加西市としても、農業経営の省力化、効率化のために大型機械は必要であり、後継者育成の観点から、免許取得のための講習会の開催回数を増やす必要があると考えています。講習回数を増やしていただくように県へ要望したり、北播磨地区の市町で共同開催ができないかなど検討したいと考えています。

また、受講料が3万円と高額であるため、地域農業の担い手育成の観点から、若者や女性の農業参画を促す目的で、女性または45歳未満の男性が講習を受講される場合、受講料の3万円を助成しています。

現在、担当で対応策について検討しており、もう少し時間を頂きたいと思っています。

要望 受講料については、しっかり支援していただくよう要望しておきます。また、若い人が後継者としてやっていけるように取り組んでいただくようお願いします。

■その他の質問項目

- ・安全・安心のまちづくり
- ・ガン検診について
- ・市制55周年について

ふるさと納税について



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 53億円余りのうち、24億円が返礼品や委託料に使われ、12億円を各種事業に充当している。たくさん入ったからいくらかでも事業に充てればよいものではなく、事業を取捨選択すべき。市の財政需要から見れば、市税と地方交付税で賄える財源はある。

答 ふるさと納税寄附者の意向に沿って、できる限り迅速に充当したいと考えます。

意見 寄附者の意向といえども、普段から加西市として施策展

開しているものばかり。寄附者の意向だけではないはずだ。

問 加西病院の建て替えを控え、建設費が3桁まで膨れ上がるとまで言われている。ならば、ふるさと納税の一部を建設費用として確保すべきではないのか。また、ふるさと納税と引換えに、一般財源に余剰が出ているならば、起債の繰上償還をするなど将来世代の負担軽減を考えるべきでは。

答 病院建設は「病院建設応援基金」を創設しています。ふるさと納税のメニューにも「加西病院のサポートや福祉の充実」という項目があり、その寄附分を建設費に回すことは可能です。

意見 病院建設以外にも、児童館や体育館、北部公民館、クリーンセンターの建設に多額の費用がかかる見通しだ。ふるさと納税のうち、その多くが「市長にお任せ」。

市長が費用をきちんと確保することを明確にすることが大事だ。

問 ふるさと納税サイトへの委託料は、ふるさと納税のうち14%程度(7億円余り)を占める。思い切って「ふるさと納税推進業務」を市内事業者へ委託してはどうか。それだけの雇用が生まれる。ふるさと納税サイト運営会社の加西市への誘致も考えては。

答 委託については前向きに検討していきます。市単独のふるさと納税サイトを作るのは困難ですが、有力なサイトの誘致は検討します。

■その他の質問項目

- ・情報伝達システム(防災無線)の整備について
- ・公共交通について
- ・「ゼロカーボンシティ」「脱炭素社会」について

加西市・加西市民と自衛隊との良好な関係づくりについて



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 45年前、加西市が青野原駐屯地の立地を快く受け入れていれば、どのようなメリットがあったのか。まず、防衛省の交付金についてお尋ねしたい。

答 基地関連の交付金として、国有提供施設等所在市町村助成交付金があります。青野原駐屯地は小野市、加西市、加東市の3市にまたがり、令和2年度の3市の交付金合計は9,780万1,000円、土地面積等で案分すると、加西市は3,423万6,000円となりま

す。基地が全て加西市に立地した場合、基地全体の交付金を仮に1億円とすれば、45年間であれば45億円という試算になります。

問 青野原駐屯地の自衛官の住民税収入は。

答 駐屯地にお住まいの自衛官約500人が、加西市に住民登録がある場合の住民税を積算することは困難です。単純計算ですが、加西市の令和3年度の個人住民税特別徴収の納税者の平均年税額10万3,628円を500人に乗じれば、5,181万4,000円となります。

問 防災無線の整備後を見据えた防災公園の整備や、ミュージアム等への太陽光パネル設置など鶺野飛行場跡の活用について。

答 防災公園は平成30年9月議会でも御提案いただき、

防災機能を持った公園は防衛省の補助対象であり、費用対効果について検証しながら必要性を考えたいとお答えしました。現在は防災公園の整備計画はありませんが、令和5年の防災無線の整備完了を見定めた上で検討したいと考えます。また、鶺野周辺整備においてもゼロカーボン方針の下で進めていきたいと考えます。

問 加西市と自衛隊の有効な関係について、市長の考えは。

答 (市長) 近年は大規模災害が全国各地で起こり、地方自治体が担う市民の安全安心のために自衛隊は頼りになる存在で、しっかりと関係を構築したいと思っています。防災無線のめどがつき、次の課題の道の駅構想も含めて、防災公園やヘリポートなどの検討ができればと思います。

デジタル田園都市構想について



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 加西市におけるデジタル人材の確保や育成、DXの具体的な取組は。

答 高い技術力を持つ中堅職員が複数名いますが、将来に向けて若手職員の育成も必要と考えます。DX推進検討チームでは13項目の課題に取り組み、LINEを活用したデジタル市役所窓口を開設し、サービスを開始予定です。

問 会派で提言した10項目のDXについて、いくつか実現していただいた。令和2年度に

先を見据え未来に向けたローカル5Gの整備を提案したが、DXを進める考えはあるのか。

答 (副市長)時代の状況が大きく変わる中でデジタル化は欠かせないと考えており、人材育成のためにICT担当を各課に設けて鍛錬している最中です。スマートシティなのかスーパーシティを目指すのかは別にして、早期にDX推進計画を策定するとともに方向性を見定めたいと考えます。

問 新機種開発や法的整備も進み、ドローンの活用幅や更なる可能性も見えてきた。加東市は、購入と育成の両方で運用体制を整え積極的な整備に努めているが、今後の計画は。

答 網引湿原における生物多様性の確認調査ため、環境課で2台保有し、職員4名が操縦できます。また、令和3年10月に

はドローン減災士協会に加入しました。操縦士育成については、笠松山火災(上空映像から放水地点を指示)を踏まえ、消防団員等によるドローン減災士を念頭に、令和4年度予算に計上する予定です。

意見 ドローン活用について、山火事を教訓に放水支援だけでなく、山中で消火活動に当たる消防団員へ麓から水タンク補給や食料物資を運ぶ輸送等でも今後の活用が考えられる。また、スマート農業の推進について、将来を見据えた市のビジョンがなく、先進地の事例などを研究し、想像を膨らませ、将来を見据えた農業の未来図を描いていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ 下水道行政について
- ・ 観光行政について

農業の活性化について



下江 一将 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 令和3年度の新規農業従事者について。

答 認定新規就農状況は施設ホウレンソウが1名、施設イチゴが1名、施設メロンと露地野菜をされる方が1名、黒大豆と露地野菜をされる方が1名の計4名を認定しています。

問 収穫期など繁忙期に人材の確保として隙間時間で副業的に手伝えることができる仕組みを考えられないか。

答 例として主婦や会社員などが空いた時間に1日単位、時間単位で気軽に働ける農業アルバイトのスマートフォンマッチングアプリが開発され、北海道や東北のJAで先行して活用が進んでいます。

問 販路拡大の支援について。野菜の種類に限らず「加西市の野菜がおいしい」など違う形でブランディングすることは考えられないか。

答 行政の役割としては、農産物のブランディングも含めた品質の向上や、付加価値化のための機械や施設の補助、販売促進のための包装デザインやパッケージ開発への支援を行っています。販路に関しては、パイヤーとのマッチングの商談会等の情報の提供を行いながら、全体的な販路の拡大の支援を行っています。

問 農業体験施設の整備について。

答 農業体験ができる環境整備については、西笠原町営農組合が運営する市民農園、新規就農でブドウやイチゴを目指す方向けの県インターンシップ事業、本格的に農業で起業を目指す方向けの県立農業大学や兵庫県酪農生活センターでの就農研修があります。加西市が直接運営する農業体験施設や研修施設については農地の取得やハウス施設などの設備の整備、技術指導者自体の確保等の面で様々な課題があり、現状では難しい状況であると考えます。

問 お試し滞在拠点のプランで農業体験を加えることは考えられるか。

答 やり方によっては可能ではないかと考えています。

学校給食について



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 給食を通じて食に関わるといふ意味で、教育委員会の責任はとても重い。改めてどのように食育に取り組んでいるのか。

答 令和3年度は、農政課との連携をより密にして生産農家を一緒に訪問して取材したり、毎月の給食献立会では地元産野菜の積極的な活用について栄養教諭と話し合っています。将来子供たちが自分の食べる物に対して興味関心を持ち、より安全で体にも環境にも良い、身近で採れた旬の物

等、自分で判断して選ぶ力を育てたいと考えます。

問 安全な地元産食材を給食に提供する具体的な取組は。

答 なるべく食品添加物を使わない食品、農薬や化学肥料を使わずに育てているものを購入し、安心して食べることができるように取り組んでいます。生産農家で数の確保が難しい場合は愛菜館等で購入しています。

問 給食費の無償化は、財政的な支援があれば、給食を充実させていく取組の意味でも大切と思うが。

答 教育委員会として、公会計化による保護者負担の軽減を第一に考えています。公会計化の費用や効果等を調査し、無償化を含めた給食費の議論を行う必要

があると認識しています。

問 相生市に続いて明石市は中学校の給食費無料、また大阪市や高島市が財政調整基金を取り崩して実施しており、子育て支援と合わせて非常に重要だと思う。ふるさと納税で子育て支援している中で、無償化を前に進めるのは非常に意義のあることでは。

答 (市長) まずは教育委員会です。しっかり検討し、私としては財政的に対応できるかが問題です。一度やればやめるという選択肢はありません。ふるさと納税の見直しも予想され、今後の見通しが難しい中、一定水準の収入見込みが必要だと考えます。しかし、子供たちがいろいろなことを考えずに学ぶことができる環境の一つとして、大事な課題だと認識していますので、教育委員会とよく相談して考えたいと思います。

ダイバーシティ (多様性) と働き方改革について



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 女性活躍への取組として、女性を中心とした本音で話し合える機会を設けてはどうか。

答 職場を越えて女性が議論する場をつくる中で、普段から議論できる場を持てるようにしたいと考えます。また、職員の自主的な活動を支援する制度を活用して、女性職員が議論の場を持つようにつなげていきます。

問 ウィメンズネット加西塾の女性リーダー養成講座受講

生が、今後地域に参画しやすい状況をどのようにつくるのか。

答 養成講座の半年間の学習成果をさらに深め、動きにつなげるため、成果を発表する機会を設けます。受講生自身がやりたいこと、自分たちの思いを形にしてくれるものと期待しています。

問 障がい者の就労支援について、事業所や就労者に対する取組の現状は。

答 やりがいや生きがいを持って就労を継続し、自己実現が図られるよう、関係機関の連携強化や情報共有に取り組むとともに、就労支援専門員を配置して就労支援や就職後の職場定着を図るための相談、援助体制の充実に努めています。就労移行支援事業所を通じて一般企業へ就職した方は、令和2年度は6名です。

問 働き方改革は多様性と密接に関係している。まず自分と異なる価値観や立場の人に触れ、互いを知り認め合うことが第一歩ではないか。遠慮なく意見交換し成果を発揮できる関係づくりが必要だ。多様性と働き方の推進についての考えは。

答 (市長) 多様性が尊重される社会を進める取組の一つがウィメンズネット加西塾で、具体的な行動となって加西市が動く一つの原動力になればと思います。また、多様性は人権尊重と考えられており、障がい者団体と意見交換するなど、引き続きコミュニケーションを取って人権尊重に努めます。3月議会には男女共同参画推進計画策定と同時に、「(仮称)加西市誰もが自分らしく共に生きる社会づくり条例」を上程する予定で、さらに議論を深めていきます。

市議会トピックス

■ 閉会中の委員会活動報告

建設経済厚生常任委員会 令和3年11月12日(金)に地域振興部、農業委員会と「加西市農業における課題について」をテーマに意見交換会を実施しました。

意見交換会の様子



総務常任委員会 令和3年11月15日(月)に市立加西病院事務局と「市立加西病院の新病院建設について」をテーマに懇談会を実施しました。

懇談会の様子



■ 令和4年3月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
2月25日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
3月1日(火)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問)
3月7日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
3月8日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
	本会終了後	予算決算常任委員会 (全体会)
3月9日(水)	10:00	本会議 (予備日)
3月10日(木)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
3月14日(月)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月15日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会 予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月16日(水)	13:30	予算決算常任委員会総務分科会 (予備日)
3月22日(火)	9:00	予算決算常任委員会 (全体会)
3月24日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (委員長報告・討論・採決)

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

3月定例会での取り扱いを希望される場合は、令和4年2月17日(木)17時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、御活用ください。
スマートフォンで御覧いただく場合は、下記QRコードを御活用ください。

ぜひ傍聴にお越しください!



議会中継
(ライブ・録画)は
加西市議会HPへ



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 北川克則
委員 井上芳弘
委員 深田真史

副委員長 佐伯欣子
委員 深田照明
委員 森元清蔵